



AEDの贈呈 いざという時に備えて

11月21日、市役所で、肥料や土壌改良資材の開発・製造・販売をしている日本肥糧株式会社から、地域貢献活動の一環としてAED(自動体外式除細動器)が贈呈されました。

AEDは市役所玄関ロビーに設置され、緊急の場合はいつでも使用できるようになっています。



食育プロジェクト みんなと一緒にカレーづくり

11月27日、下野町大井の用田さん宅で、食育プロジェクトの1つ、「田んぼと畑と海の学校」で作ったじゃがいもとにんじんを収穫し、カレーなどを調理しました。子どもたちも野菜を洗ったり、カレーと一緒に食べるナン生地をこねたり、しっかりお手伝いをしてくれました。



人権尊重を考える 人権フェスティバル

12月6～11日、人権センターを中心に、市民一人ひとりの人権が大切にされる地域社会を目指して、人権フェスティバルが開催されました。人権に関する展示や福祉団体による模擬店、作品展のほか、人権啓発市民講座などが行われました。



防犯作文コンクール 優秀賞受賞!

12月13日、竹原警察署で、中国管区内中学生防犯作文コンクールの表彰式が行われました。「受賞の知らせを聞いてびっくりした。」と話していた竹原中学校1年生の稲葉大樹君が書いた作文「地域社会との関わり」からは、当たり前だと思っていた、家族、学校の先生、地域の人達への感謝の気持ちが伝わってきました。



ご当地の魅力を体験→発見→発信!

10月16日、11月27日、12月3日、市内で、たけはらキッズ野菜ソムリエ育成プロジェクトが開催されました。キッズ野菜ソムリエとは、「野菜や果物に触れ、その魅力を広げていくことのできる子どもたち」で、参加し任命を受けた15人の小学生は、野菜・果物クイズや数種類の品種の食べ比べで、色や種類の多さ、味の違いに驚いたり、市内で作られた果物を使ったブドウマフィンやレモンマーマレード作りを体験しました。

この活動を通して感じた野菜や果物の魅力を家族や友達に伝えてみてね。



新しい給食メニューが誕生!!

12月7日、大乘こども園で、市の地場産物であるじゃがいもと、カゴメ株式会社のトマトソースを使った「和風トマじゃが」が、保育所給食メニューとして新たに紹介されました。県立広島大学の学生が考案し、カゴメ株式会社と市保育連盟が連携して誕生しました。今後も市内の保育所やこども園の給食献立として登場します。

竹原の美味しい食材を使った給食を、園児たちは「おいしい」と喜んでいました。